

■比較する調査

調査名	時期	対象	回収数(回収率)
草津市子ども・子育て支援に関するニーズ調査	H25.11	小学生の保護者	444/1,000(44.4%)

分野	項目	前回調査	新規	就学前共通の場合は問番号	国の基本指針を参考にした問	分析の視点
対象者と家族の属性	問1(1) 対象となる子どもの学年	問1(1)	-	-	-	・対象者の学年を把握し、クロス集計で活用する。
	問1(2) 子どもの人数と末子の生年月日	問1(2)	-	問1(2)	-	・対象者を含む家族内の子どもの人数の傾向を把握し、クロス集計で活用する。
	問1(3) 対象者からみた回答者の関係	問1(3)	-	問1(3)	●	・回答者の属性を確認する。
	問1(4) 同居の家族	問1(4)	-	問1(4)	-	・家族構成の傾向を把握し、クロス集計で活用する。
	問1(5) 回答者の配偶者の有無	-	●	問1(5)	●	・配偶者の有無やひとり親家庭の割合を把握し、クロス集計で活用する。 ※前回調査時は問1(4)で把握していた。
	問1(6) 対象者の子育てを主にしている人	問1(5)	-	問1(6)	●	・子育ての担い手の傾向を把握し、クロス集計で活用する。
	問1(7) 回答者の草津市での居住年数	問1(6)	-	問1(7)	-	・居住年数の傾向を把握し、クロス集計で活用する。
	問1(8) 日頃子どもを預かってもらえる人	問1(7)	-	問1(8)	-	・身近な子育て支援者の状況を把握し、クロス集計で活用する。
	問1(9) 居住する小学校区	問1(8)	-	問1(9)	●	・居住地域を確認し、クロス集計で活用して地域ごとの傾向を把握する。
保護者の就労状況	問2 保護者の現在の就労状況、今後の就労希望	問2(1)、問3	-	問2	●	・保護者の就労状況および今後の就労希望を把握し、クロス集計で活用する。 ・事業量の見込みに活用する。
	問2-1 保護者の就労時間・日数・勤務先の所在地	問2(2)(3)	-	問2-1	●①②	③④は独自設問。保護者の出勤時間等について把握し、延長保育・預かり保育等の利用時間の検討材料とする。
	問2-2 就労無しから就労有りへの転換希望	問4	-	問2-2	●	・1年後に就労していない保護者の就労希望の傾向を把握し、事業量の見込みに活用する。
	問3 産休・育児休業の取得状況	-	●	問3	-	※前回の就学前問5を国の任意項目を参考に改編 ・女性の就業率80%の達成が「子育て安心プラン」の目標として掲げられる中、草津市の「母親」の育児取得状況について把握する。 ・男性の育児休業の取得状況について把握する。
仕事と子育ての両立支援	問4 仕事と子育てを両立する上での問題	問5	-	-	-	・仕事と子育てを両立する上で問題と感ぜられる状況を把握する。
	問5 仕事と子育てを両立する上で必要な環境・支援	問6	-	問4	-	・仕事と子育ての両立支援について、施策の検討に活用する。
放課後の過ごし方	問6 対象者の平日の放課後および土日の過ごし方	問7(1)~(3)	-	-	-	・対象者の平日放課後および土日の過ごし方を把握する。主に、児童育成クラブの利用状況を把握するための設問だが、その他の過ごし方(家で一人、など)についても把握することで、今後の利用見込みの検討材料にする(例えば、問6の低学年で平日家で一人で過ごす傾向の層で、問9で「利用したい」を選択している場合は見込み量に上乗せしてニーズを見込む、など)
	問7 児童育成クラブの利用の有無	問8	-	-	-	・児童育成クラブの利用の有無を確認する。ここで「利用していない」を選択し、問9で利用を望む層は可能な利用ニーズとして、見込み量に上乗せする、など
	問7-1 平日の放課後および土曜日の利用頻度	問8-1	-	-	-	・児童育成クラブの利用頻度を確認し、事業量の見込みに活用する。
	問8 児童育成クラブに対する要望	問9	-	-	-	・児童育成クラブに関する保護者からの要望を把握し、今後の施策検討の参考とする。
	問9(1) 児童育成クラブの今後の利用意向(低学年)	問10(1)	-	※	-	※就学前でも聞いているが、聞き方は小学生とは異なる。 ・児童育成クラブの今後の利用意向を把握し、事業量見込みに活用する。
	問9(2) 児童育成クラブの今後の利用意向(高学年)	問10(2)	-	※	-	※就学前でも聞いているが、聞き方は小学生とは異なる。 ・児童育成クラブの今後の利用意向を把握し、事業量見込みに活用する。
病気の際の対応	問10 対象者が病気やケガで学校を休んだ経験	問11	-	問13	-	・子どもの過去1年以内の病気やケガによる休みを把握し、事業量算出に活用する。
	問10-1 対象者が病気やケガで学校を休んだ際の対応	問11-2	-	問13-1	-	・子どもが病気やケガで休んだ際にどのように看護したか現状を把握し、事業量算出に活用する。
	問10-2 仕事を休まずに対処できる場合の対処方法の希望	-	-	問13-2	-	病児病後児保育の利用ニーズについて把握する。 ※H25調査から聞き方を変えている理由は、「病児病後児保育を利用したいか否か」の2択で聞いてしまうと、「利用したい」というニーズが過大に出てしまうことから、多様な選択肢の中で検討していただくことで、ニーズを深く問う形としたかったため。
	問10-2-① 病児・病後児の保育サービスを利用しない理由	問11-3	-	問13-3	-	・病児・病後児保育やその他のサービスに関する意識を把握する。
子育て全般	問11 近所付き合いの程度	-	●	問16	-	・近所付き合いの程度について把握し、クロス集計に活用することで、孤立の状況、子育ての意識や負担感との関連等を分析する。
	問12 子育てへの感じ方(楽しさ・不安・負担感)	問13	-	問21	-	・子育てへの感じ方(楽しさ・不安・負担感)の傾向を把握し、前回調査と比較する。
	問13 日常生活における親の子どもへの関わり方	問15	-	-	-	・日常的な親の子どもへの関わり方について確認し、子育てに関する親の姿勢の傾向を把握する。
	問14 子育てに関する悩み	問14	-	問22	-	・子育てに関する悩みを具体的に把握し、前回調査との比較も合わせて、市の施策の方向性を検討する。
	問15 子育て(教育)に関する相談相手・場所	問16	-	問20	-	・子育て(教育)についての相談環境を把握する。
	問16 同年代の子どもを持つ親との交流	問17	-	問17	-	・子育てをする親同士の交流について傾向を把握し、孤立の状況等について把握する。
	問17 子育ての仲間づくりへの参加意向	問18	-	問18	-	・子育ての仲間づくりへの参加意識を把握する。
	問18 子育ての経験を生かしたボランティアへの参加意向	問19	-	問19	-	・子育ての経験を生かして、「担い手としての」ボランティア活動への参加意識を把握する。
	問19 子育て支援事業の認知度・利用状況・利用意向	問20	-	問23	-	・既存の子育て支援に関する市民の認知度、ニーズを事業ごとに把握し、市の施策を検討する。
	問19-1 ファミリーサポートセンターとショートステイの利用状況	問21	-	-	-	・ファミリーサポートセンターとショートステイ事業の利用頻度と今後の利用意向を把握し、事業量を見込む。
	問20 草津市の「子ども医療費助成制度」への満足度	-	●	問26	-	・市の子ども医療費助成制度に対する市民の満足度を把握する。
	問21 草津市は子育てしやすい市かどうか	問22	-	問25	-	・「子育てしやすさ」に関する市民感覚を測り、前回調査と比較して変化の傾向をつかむ。
	問22 草津市の子育てに関する取り組みへの評価	問23	-	問24	-	・草津市の子育て支援に対する市民の評価を項目ごとに把握し、市の施策を検討する。
	問23 子育てのための地域での取り組みに関する要望	問25	-	-	-	・市民からみて、地域で安心して子育てするためのニーズを把握し、市の重点的施策を検討する。
問24 子育て支援に関するご意見・ご要望(自由記述)	問24	-	問27	-	・子育て支援に関する自由な意見を聞く。	

H25調査から削除した項目⇒問12、問17-1、問24